

# 2019 年度事業計画書

(2019 年 9 月 1 日から 2020 年 8 月 31 日まで)

核医学診療推進国民会議

## 1 事業実施の方針

当会は、患者が核医学診療（RI 内用療法及び核医学診断）を日本国内で適切に受けることができる環境を整えることを目的としている。医療者、企業、患者等の関係者の意見を収集し、政策提言、啓発・広報活動、コミュニティ形成活動を通じて、治療法の早期国内導入や法整備への働きかけを行う。

今年度より対象分野に「PSMA（前立腺がん治療）」を追加し、下記の分野を対象として活動を行う。

### 【主な対象分野】

PRRT（神経内分泌腫瘍の治療）

放射性ヨウ素内用療法（甲状腺がん治療）

塩化ラジウム（前立腺がん治療）

PSMA（前立腺がん治療）

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 患者のアンメットニーズの調査・把握に関する活動

日本核医学会のワーキンググループや委員会活動に協力し、患者視点での意見反映に努める。

### (2) 政策提言に関する活動

#### ① 要望書の提出

厚生労働省及び原子力規制庁など関係省庁に対して、核医学診療の推進に向けた要望書を提出する。また必要に応じてフォローアップとして各省庁を訪問し、要望書に関して状況確認や意見交換を行う。

#### ② ロビー活動

要望書の実現を目指し、マスメディア向けの説明会や国会議員への説明の機会を設ける。

・国会議員（自見はなこ氏）と厚労省政策局の勉強会の開催

### (3) 啓発・広報活動

企画委員会にて下記プロジェクトを進める。

#### ① 核医学に関する一般向け冊子の作成

核医学診療について解説した一般向け冊子を作成する。

#### ② 広報誌の発行

会員への情報提供のための広報誌（会報誌）を発行し、全会員へ郵送配布する。

③ 用語集（ホームページ）

核医学に関する用語の解説をホームページ上に掲載する。

各プロジェクトの進行と並行して当会会員を対象にアンケートを行い、情報発信に関するニーズの調査を行う。このほか、学会等のイベントにおける講演、新聞等のインタビューにて核医学に関する啓発・広報活動を行う。

(4) 核医学診療推進コミュニティの形成活動

① 会員登録の促進、意見の収集

学会やイベント等において広報活動を行い、当会議の活動に参画する会員の数を増やす。特に患者会イベントや一般向けセミナーなどの機会における広報活動を積極的に行い、患者側からの参画を促し、意見を募ることができるようにする。

広報誌、HP などによる会員向けの情報発信や会員を対象としたアンケート調査を通じ、会員が当会活動へ参画できる機会をつくる。

② 企画委員会の組織

事務局と賛助会員企業を中心とした企画委員会を組織し、プロジェクトごとに担当を決めて作業を行う。

③ 他団体との連携

PSMA を標的とした 前立腺がん核医学治療の早期国内導入に向けて、NPO 法人腺友倶楽部と活動連携する。

(5) その他

① ホームページ・会員の運営管理

ホームページの運営（最新情報のアップ、保守作業等）及び会員管理（会員情報の管理、会費の徴収等）を行う。

② 会員総会・理事会の開催

日本核医学会春季大会（2020年4月25～26日@虎ノ門ヒルズフォーラム）に合わせて会員総会を開催する。そのほか、必要に応じて会員総会を開催する。

日本核医学会学術総会（2019年11月3～5日@松山市総合コミュニティーセンター）に合わせて理事会を開催する。そのほか、必要に応じて理事会を開催する。

以上